

市政を問う！

一般質問は、市の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、見解を求めるものです。9月定例会の一般質問は、9月7日（火）、8日（水）、9日（木）の3日間に13名の議員が質問しました。

（ここでは紙面の関係で、その一部を要約して掲載しています。）

代表質問

事業仕分けや各種検診の推進と 東京行き高速バス運行について



公明党 鯨井 眞佐子

行政改革について

問 平成18年3月定例会
議会の代表質問で、

公明党が事業仕分けの導入を提案している。

また、平成22年度の予算要望書にも「事業仕分けによる行政のスリム化と効率化を図ること」と1項目挙げて要望している。

現在、事業仕分けは、多くの自治体で始まっており、千葉県内でも習志野市をはじめ、流山市、四街道市など、事業仕分けに取り組み自治体が増えている。

八街市でも、ぜひ、事業仕分けを進めていくべきであると考え、その取り組みについて伺う。

市長

事業仕分けは、限られた資源を有効に活用するために、事務事業の必要性や実施主体のあり方などについて外部の視点を取り入れ、根本から見直し、整理、区分するものであり、本市も、効果的な行政評価を行うために、入念に調査・研究を行い、その後、行政評価の導入、外部評価などの段階を踏みながら事業仕分けについて研究してまいりたい

各種予防接種について

問 子宮頸がんワクチン・ヒブワクチン・

肺炎球菌ワクチンへの助成は、国及び市において、公明党が必要性を主張し、何度も要望してきている。特に、子宮頸がんは発症原因が唯一わかっているがんであり、それゆえ、他のがんとは異なり、「ワクチン」と「定期的な検診」の両輪によって、ほぼ予防できると言われている。

子宮頸がんワクチンとヒブワクチン、肺炎球菌ワクチンの公費助成を望むが、本市の取り組みを伺う。

市長

子宮頸がんの予防ワクチン接種が、昨年10月に承認され、12月22日から一般の医療機関での接種が可能となったことなどを踏まえて、県内でも任意接種となる予防ワクチンの接種費用を独自に公費助成する自治体が増えてきております。

本市としては、子宮頸がんの予防ワクチン助成につきましては、実施する方向で検討してまいりたいと考

と考えております。

えております。

なお、ヒブ及び肺炎球菌の予防ワクチンにつきましては、国の方針が示されていないため、今後の国の動向及び実施している自治体の状況などを調査した上で、前向きに検討してまいりたいと考えております。

問

公明党が要望し実現した、前立腺がん

の検診が4月から始まったが、現在の検診状況を伺う。

市長

本市では、今年度から50歳以上の男性を対象に検診を実施することになりました。検査方法は、PSAと呼ばれる腫瘍マーカーの採血による検査を行っております。受診者数につきましては、8月16日から8月25日までの10日間で1千273人となっており、対象者数のうち約7・8%の方が受診されております。

交通の利便性について

問

高齢化社会を迎えて、東京に行きたい

が乗り換えが大変など、多くの方から「東京行きの直通バスがあったら便利なの」に「東京行きの直通バス

が欲しい」との声があった。公明党も、4年前から東京行き直通バスの運行はできないものかと、いろいろと探り、要望をしてきた。

市長

この9月から京成バス・ちばフラワーバスの東京への高速バスの乗り入れが始まる」と聞いたが、その状況を伺う。

本市が要望を続けておりました東京方面への高速バス運行であります。今年度に入り状況に進展が見られ、ちばフラワーバス株式会社から、千葉市若葉区にあります京成バス御成台車庫経由で八街駅北口から東京駅八重洲口に高速バスの乗り入れを考えているとの申し出があり、その後、各方面との調整や許可申請などを行い、このほど運行のめどが立つたとのことで、今月9月16日から運行を開始する予定であるとのことです。

運行後の利用状況により増便も検討したいとのことですが、逆に利用が低調な場合は、廃止もあるということですので、多くの方にご利用いただきたいと思っております。